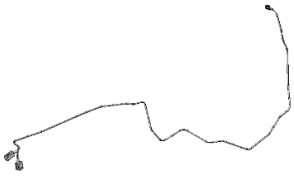
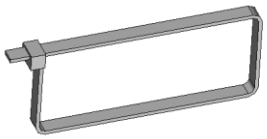
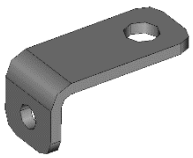
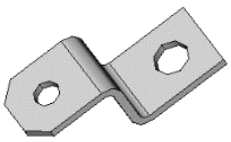
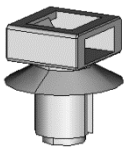
KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

1． 梱包部品

部品表をもとに全ての部品がそろっていることを確認してください。

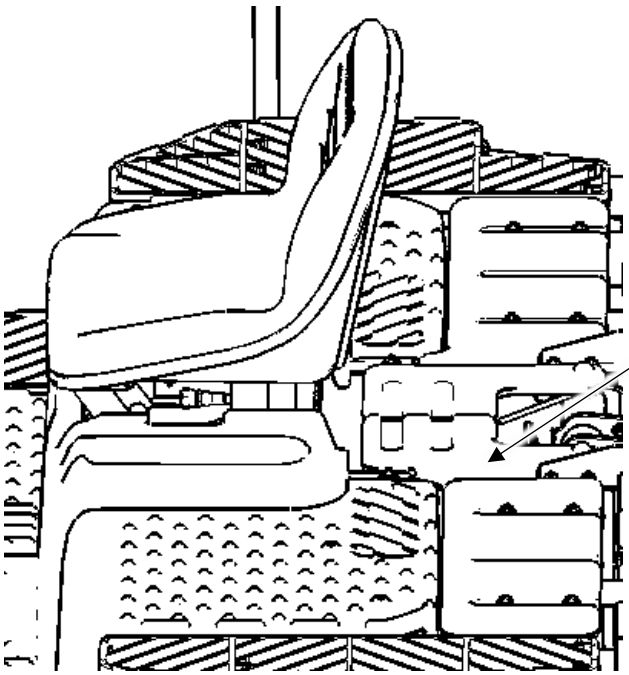
No	部品名称	概略図	部品個数	チェック欄
1	リードワイヤ		1	
2	ワイヤーバンド （全長 368mm）		3	
3	ワイヤーバンド （全長 250mm）		9	
4	ワイヤーバンド （クランプ付き）		2	
5	プレート（L 曲げ）		1	
6	プレート（Z 曲げ）		1	
7	クランプ		1	
8	QR コードラベル		1	

2． 作業箇所

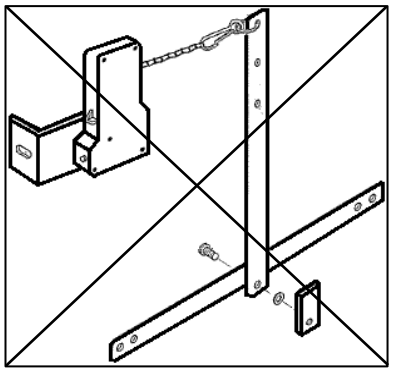
座席後ろのステップ下と植付部とイノベータ取付アーム周辺が作業箇所になります。

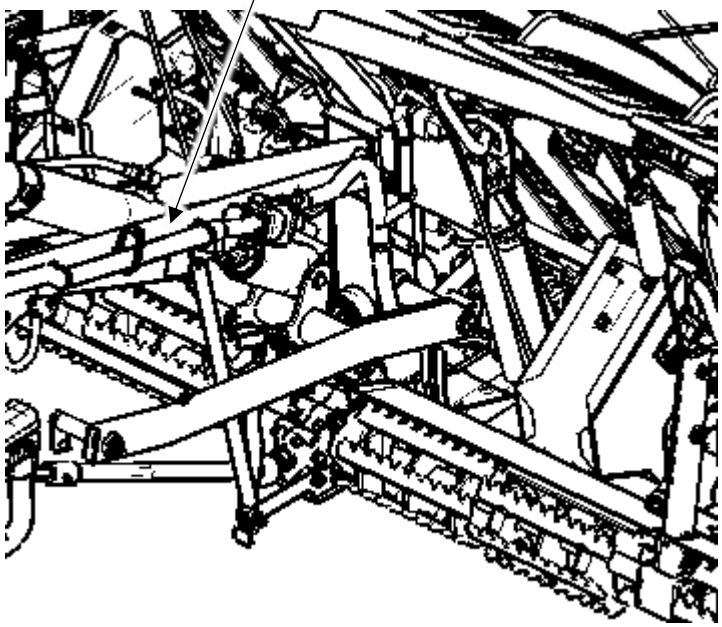
車速連動キットを取り付けた場合、イノベータキットに同梱されている送信機は使用しません。

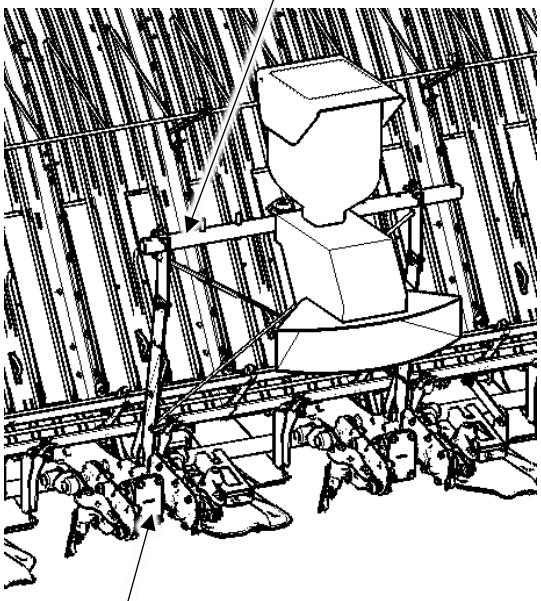
車速連動キットは車体からイノベータへ信号のみを送るキットの為、電源供給は従来通りバッテリーに接続し、イノベータの手元スイッチボックスを使用します。



送信機は使用しない

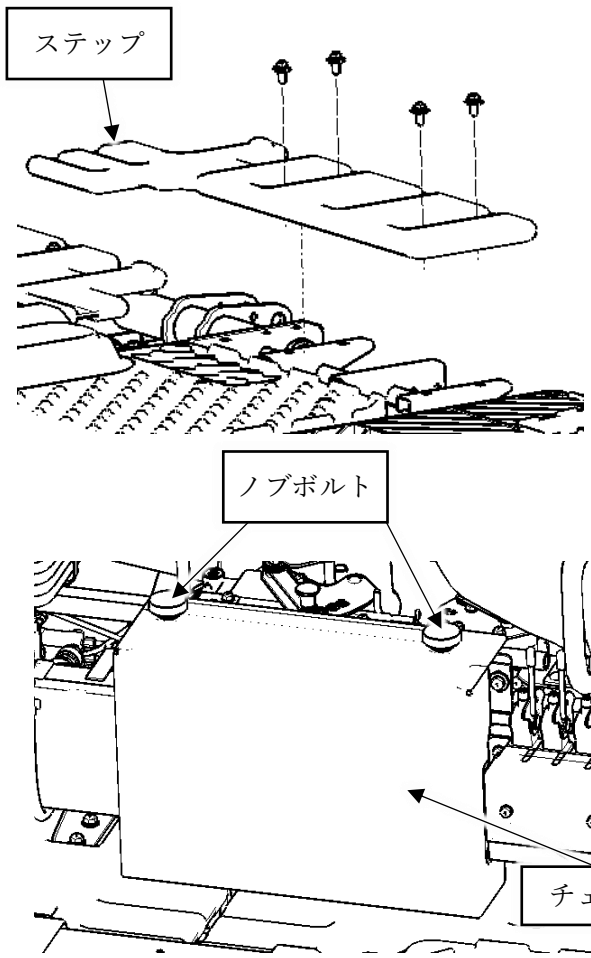
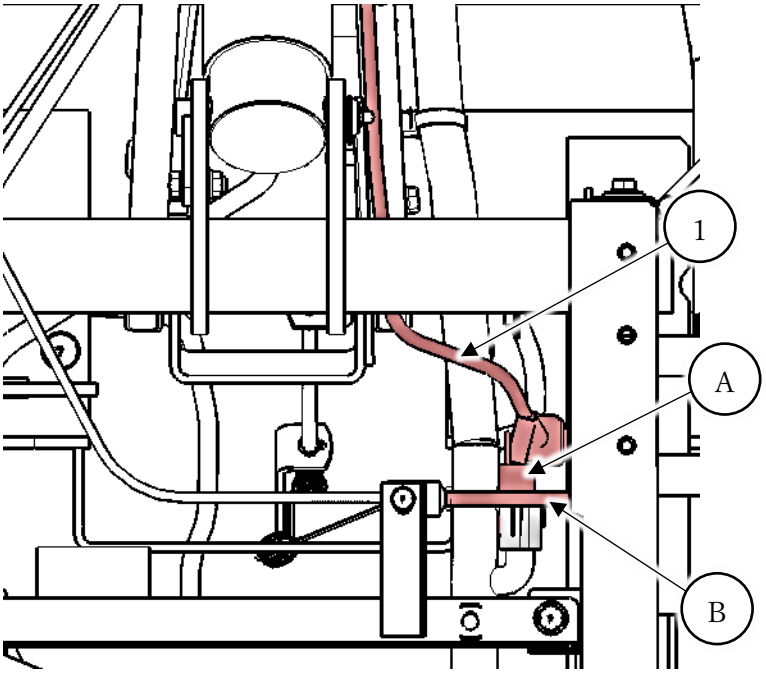




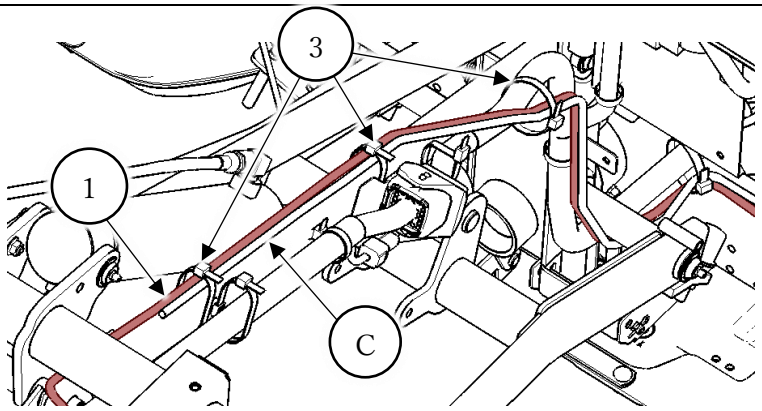
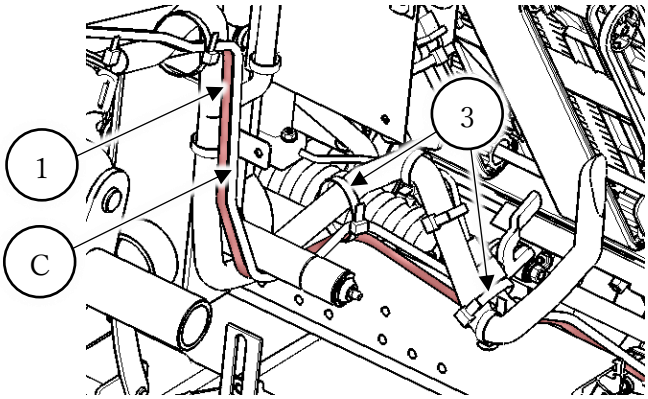
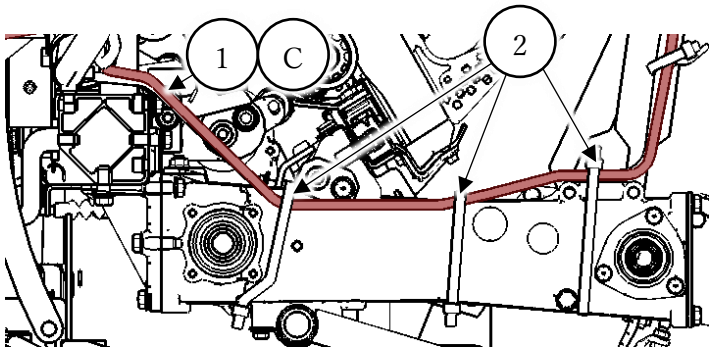


KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

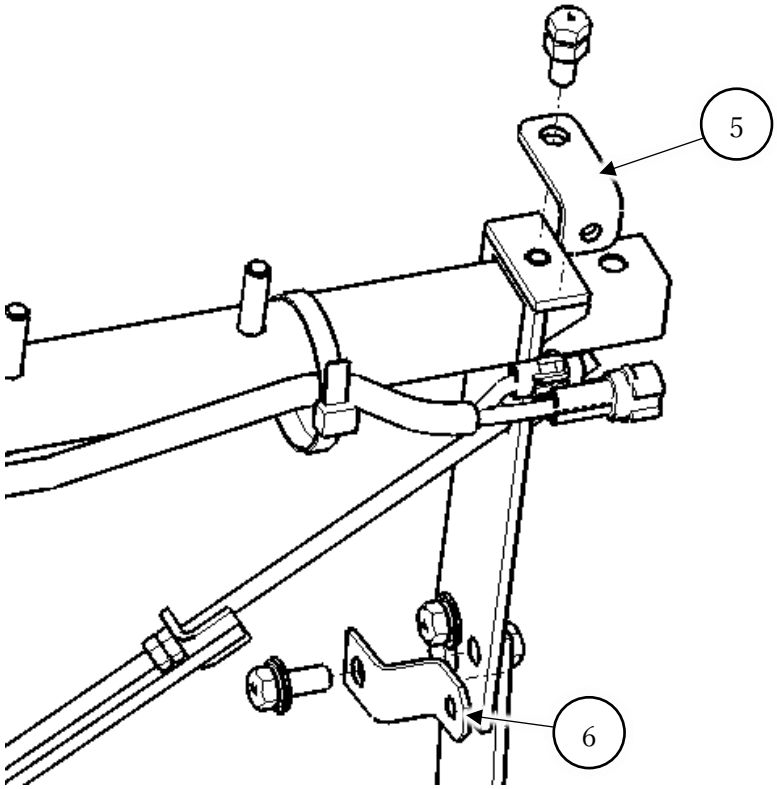
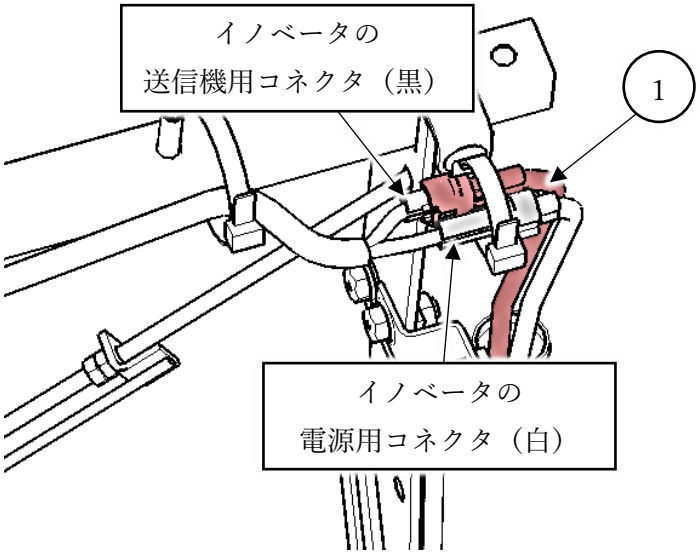
取り付け方法（図中の〇番号は部品表の番号を示します。）

組付け図	組立説明
	機体後ろ側のボルトを 4 ヶ所外し、ステップを外します。 ペースト施肥機仕様の場合は干渉を避けるためノブボルトを外してチェーンカバーを外してからステップを外してください。
	ステップ下の作業機コネクタの防水栓コネクタ（図中Ⓐ）を外し、①リードワイヤのコネクタ（灰色）を接続します。外した防水栓コネクタは①リードワイヤのコネクタ（灰色）に接続します。 ①リードワイヤをステップ下のハーネスを固定していたワイヤーバンド(図中Ⓑ)で共締めします。

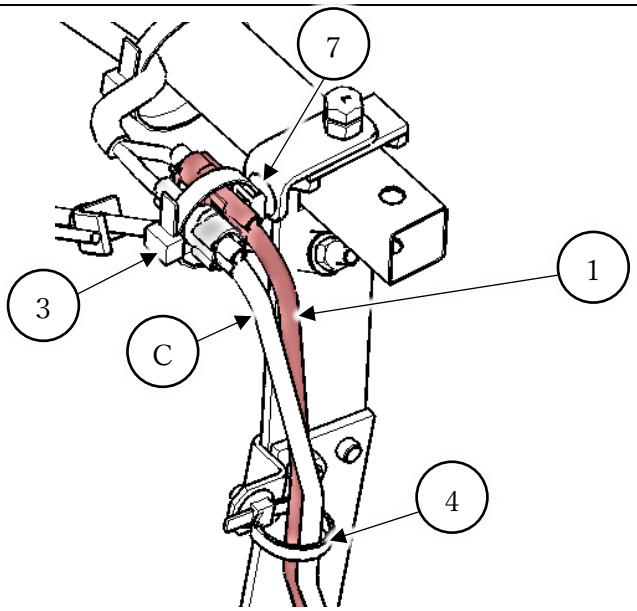
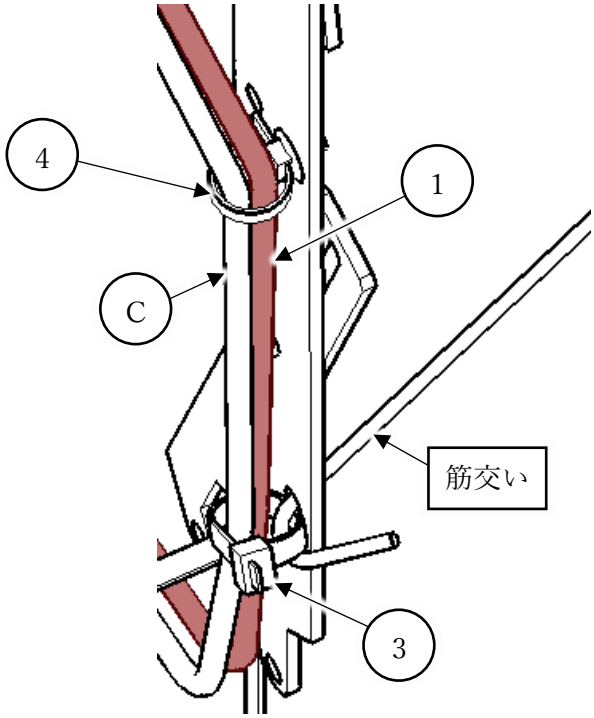
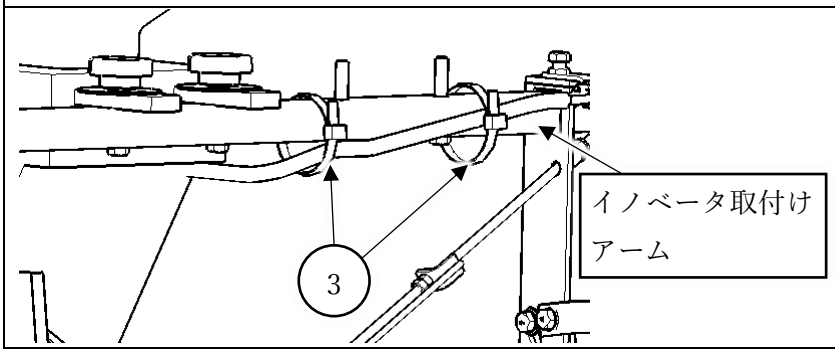
KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

組付け図	組立説明
	トップリンクに沿わせて植付部側へ配索する。③ワイヤーバンドでイノベータの電源線(図中©)と一緒にトップリンクに固定してください。(3 か所)
	①リードワイヤを植付部ハーネスに沿わせて配索します。①リードワイヤとⒸ電源線を③ワイヤーバンドでハーネスに共締めします。（2 か所）
	角パイプの上から苗載せ台の下を通してください。 ①リードワイヤとⒸ電源線を植付部クランクケースに②ワイヤーバンドで固定します。(3 か所)

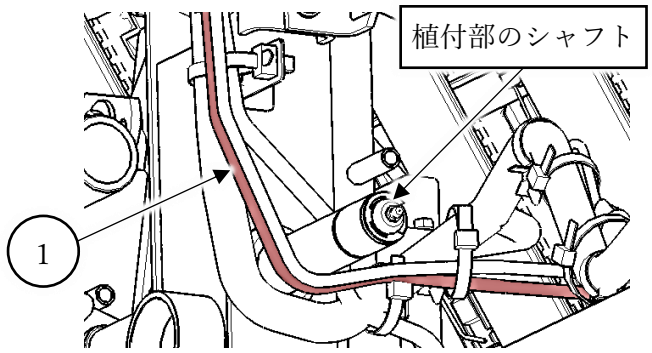
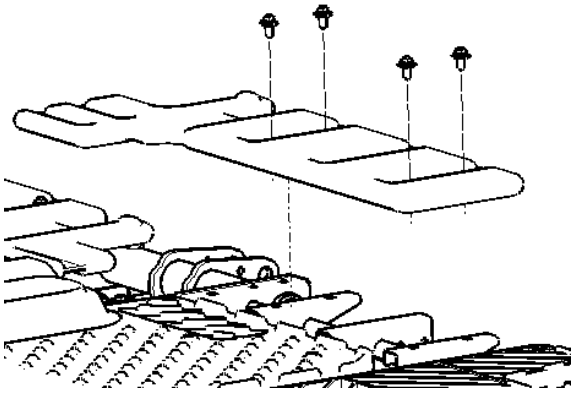
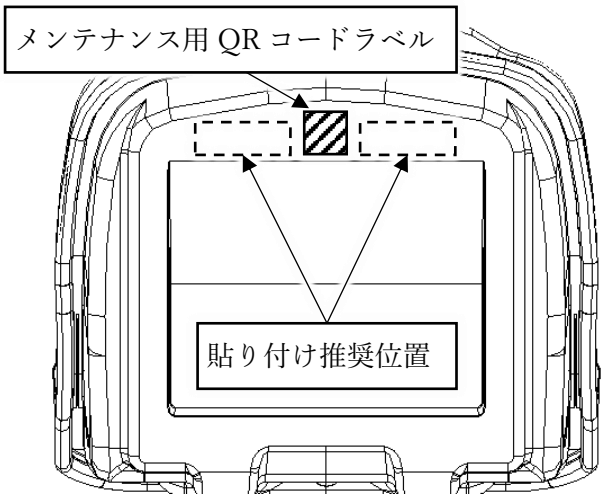
KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

組付け図	組立説明
	ボルトで⑤プレート(L 曲げ)、⑥プレート(Z 曲げ)をイノベータ取付けアームに共締めしてください。
	①リードワイヤコネクタはイノベータの送信機用コネクタ(黒)と接続します。

KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

組付け図	組立説明
	⑤プレート（L 曲げ）に⑦クランプを挿し込み、③ワイヤーバンドを通してコネクタを固定してください。 ⑥プレート（Z 曲げ）に④ワイヤーバンドを挿し込み、①リードワイヤとイノベータの電源線（図中Ⓒ）を固定してください。
	④ワイヤーバンドをイノベータ取付けアームに組付け、①リードワイヤとイノベータの電源線（図中Ⓒ）を固定してください。 筋交いの曲がっているところに③ワイヤーバンドを通して①リードワイヤとイノベータの電源線（図中Ⓒ）を固定してください。
	イノベータの線を③ワイヤーバンドでイノベータ取付けアームに固定してください。

KSR-PS 車速連動キット（薬剤散布機）取付要領書

組付け図	組立説明
	植付部が水平自動機能で動いたときに突っ張らないように①リードワイヤは植付部のシャフトの下でのたるませてください。
	ステップを組みなおしてください。 ペースト施肥機のチェーンカバーを外した場合は組みなおしてください。
	⑧QR コードラベルはいつでも読み込める位置に貼り付けてください。推奨位置は座席後ろのメンテナンス用 QR コードラベル（左図斜線部）の左右のスペース(左図破線枠内)になります。

３． 作動確認

確認する前に

- 取付けた部品がしっかりと固定されているか確認してください。
- コネクタがしっかりと接続されているか確認してください。
- 植付部を上下させハーネスに突っ張りがないか，作動部に干渉していないか確認してください。

＊ボルトの緩みや，ハーネスが突っ張っていると部品が壊れる原因になります。

機械の設定

- 平坦な場所に機械を置き、副変速レバーと主変速レバーを中立にし， エンジンを始動してください。駐車ブレーキは掛けません。
- 植付部を最上げ状態にし，油圧固定レバーを固定にしてください。

作動確認

1. 植付スイッチをいれ，クイックアップレバーを操作して植付モニターを「点灯」状態にしてください。
2. 副変速レバーを「作業」にした後、主変速レバーを少しずつ前に倒してください。
3. 機体が 1.5m~2.0m 走行するとイノベーターが駆動し、ブザーが 1 回なることを確認してください。
4. 主変速レバーを停止位置に戻してください。
5. エンジンを停止してください。

４． キット使用時の変更点

・車速連動キット使用時は散布タイミングが変わります。

車速連動キット使用時	車速連動キット未使用時（送信機使用）
車速センサの信号に連動して約 1.5～2.0ｍ走行すると１回散布	送信機の信号に連動して苗載せ台が一往復するうちに８回散布

５． 薬剤散布量の設定

車速連動キットを使用時は以下の「薬剤散布目安表」に合わせて、散布調節ツマミの目盛り位置を設定して下さい。目盛り位置は本体の散布調節ツマミの周囲に表示されている数字（１～１２）を示します。

薬剤の散布量は薬剤の種類によって変わる為、最初は１袋のみ投入して散布量を確認して下さい。

薬剤散布目安表

	ＸＰＳ６	ＸＰＳ８
イノベーター 目盛り位置 （１０ａ当たり１ｋｇ散布の場合）	４．５	５．５
スクミノン散布機 目盛り位置 （１０ａ当たり２ｋｇ散布の場合）	７．５	８．５